



—— 東京五輪の正式種目に立候補を表明 ——

- 2～3面 JBC創設50周年記念式典・シンポジウム
4～5面 ボウリングを東京五輪の正式種目に!! 活動レポート
6面 第23回アジア選手権大会
7面 第21回全国高等学校対抗選手権大会
8面 ナショナルチーム通信、TOP BOWLER



2020年の東京オリンピック・パラリンピックに新種目採用の可能性が生まれました。ボウリングは、胸を張って追加種目に立候補します。

「世界的スポーツ（111の国と地域に普及）」、「誰でも知っている」、「誰でもプレーできる」、「日本がメダル有力」などなど…ボウリングは東京で開催されるオリンピック・パラリンピックを、国民の皆様により一層身近なものにできる、そして楽しんでいただける力を持っているスポーツです。

もし正式種目に選ばれたときは、誰でも参加できる日本代表予選会を実施します。ボウリングの上達に、5年は十分な時間です。あなたもボウリングに夢を託してみませんか？



KING
OF
BOWLING

東日本大震災復興支援「とどけよう スポーツの力を東北へ!」 文部科学大臣杯争奪 第53回 全日本ボウリング選手権大会

平成27年3月12日(木)～15日(日)

- 主催** 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 文部科学省
公益財団法人 日本体育協会
公益財団法人 日本オリンピック委員会
愛知県教育委員会
公益財団法人 愛知県体育協会
稲沢市
稲沢市教育委員会
稲沢市体育協会
稲沢市ボウリング協会
全国ボウリング公認競技場協議会
主管 愛知県ボウリング連盟

GUINNESS
WORLD
RECORDS

世界最大のボウリング場
116レーン(長さ198.39m/650.88ft)

ギネス世界記録認定を受けた
「世界最大のボウリング場」で、
リニューアルされた
「プロレーン」をご堪能ください。

稲沢グランドボウル 〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町 80-1
TEL 0587-21-2131 FAX 0587-21-2133

www.grandbowl.jp/inazawa



イベント
カレンダー

2月&3月

東京・田町ハイレイン ▽2月13日(金)～15日(日) JBC 会長杯争奪第30回全日本 年齢別選手権大会 大阪・イー グルボウル	▽2月6日(金)～8日(日) 第32 回全日本実業団都市対抗選手 権大会 神奈川・川崎グラン ドボウル	▽2月16日(月)～17日(火) JBC 公認ドライバー有資格者研修 会(ブロンズコース) 福岡 ・博多スターレーン	▽2月24日(火)～26日(木) 第46 回全日本大学個人選手権大会 京都・MKボウル上賀茂	▽2月26日(木)～28日(土) 大学 7回理事会・第4回評議員会
---	--	---	--	--------------------------------------

賛助会員・特別法人・個人会員紹介

平成27年1月1日以降登録者

【特別個人会員】

▽兵庫県 一瀬靖裕、戸田 征宏
〈順不同・敬称略〉▽3月12日(木) 平成26年度第
8回理事会 愛知・稲沢クラ
ンドボウル▽3月22日(月)～31日(火) 第18
回アジアユース選手権大会
中国マカオ平成26年度
各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	競技会		リーグ
		公認件数	開催実数	公認件数
北海道地区	北海道	36	109	6
	青森	24	89	
	岩手	26	92	
	宮城	31	117	
東北地区	山形	17	60	
	秋田	25	93	3
	福島	20		
	茨城	20		
関東地区	栃木	9	45	
	群馬	19	92	7
	埼玉	40	159	11
	千葉	22	68	35
北信越地区	東京	30	76	26
	神奈川	29	102	39
	新潟	23	27	
	長野	18	41	
北信越地区	山梨	15	50	3
	石川	21	119	1
	富山	22	54	26
	福井	8	2	
東海地区	静岡	49	158	14
	愛知	62	283	1
	岐阜	35	106	
	三重	24	48	
関西地区	奈良	31	119	
	和歌山	54	316	12
	大阪	53	72	17
	兵庫	29	12	12
中国地区	京都	16	19	2
	和歌山	15		
	鳥取	15	23	
	徳島	4		1
四国地区	高松	56	119	1
	香川	14	18	6
	愛媛	14	34	28
	高知	18	39	1
九州・沖縄地区	山口	13	45	4
	徳島	27		4
	高知	11	24	
	福岡	50	197	73
九州・沖縄地区	佐賀	10	11	8
	長門	22	39	49
	熊本	18	48	77
	大分	16	8	36
九州・沖縄地区	宮崎	20	84	20
	鹿児島	32	78	30
	沖縄	24	81	
	全日本学生連合	28	9	12
総計		1,215	3,373	565

JBC創設50周年記念式典

2014年5月17日をもって創設50周年を迎えたJBC。これまでスポーツボウリングの普及振興に「尽力」くださった関係各位とともに、記念式典を12月11日(木)東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催しました。

式典はシンポジウムと祝賀会の2部構成で、約200名ものご参加をいただきました。折しも12月8日(月)にはIOC総会で2020年東京五輪の追加種目採用に可能性が開けたこともあり、ボウリングにとつての悲願である正式種目化を再び目指す決起の場として盛会を極めました。【写真協力・ボウリングジャーナル社/野田博】

シンポジウム

第2回となったボウリング界の未来を考えるシンポジウムのテーマは「世界で勝つ!」。

日本のスポーツ界でも、海外で活躍するアスリートが注目され、人気や期待を集める存在となっています。競技者団体であるJBCも、その主役であるアスリートにより輝かせることによって、

ボウリング人気の再燃が期待できます。そのために今何をすべきか、今回も4名の有識者より提言をいただきました。

――◇――

はじめに協会武部勤会長は、協会50周年に際して企画



ボウリング選手(ジュニア)強化の可能性

陸上競技とボブスレーで夏のオリンピックに出場した青戸慎司氏は、現在中京大学で陸上競技部監督として後進の指導にあたっています。自身の現役時代の経験をもとに、選手育成について解説されました。特にユニークな食



山本浩氏

法政大学スポーツ健康学部長で元NHKアナウンサーの山本浩氏による講演。人がスポーツに関わる上での楽しみは「見る」「させる(支える)」「する」の3要素で、特に「見る」は、と説きました。

オリンピックの種目になること、あるいはこの要素一つずつでも限りなく近い状況を作り出すことによって、ボウリングの普及を前進させる力が生まれてくると語りました。



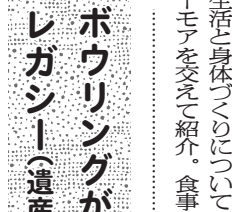
北川薫副会長

されたこのシンポジウムを契機として、ボウリングに再び活気を取り戻したいと熱意を語りました。

コーディネーターを務める北川薫副会長(中京大学学長)は今回のテーマ設定について、ボウリングに根強いイメージというイメージからの脱却を目指すという意図を語りました。

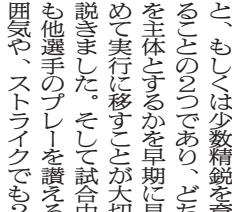
立ち上げられ ボウリング

「人をひきつける3要素をチェックする」



青戸慎司氏

生活と身体づくりについてユニモアを交えて紹介。食事を管理することは自己管理そのもので、トレーニングの重要な一部だという認識を持って取り組んでほしいと語りました。また陸上競技のジュニア育成プログラムの内容と、選手、コーチが活用しているモチベーションビデオも紹介されました。



来田享子氏

と、もしくは少数精鋭を育てることの2つであり、どちらを主体とするかを早期に見極めて実行に移すことが大切と説きました。そして試合中でも他選手のプレーを讀める雰囲気や、ストライクでも2度と同じ倒し方は再現できないことなども、ボウリングの良きレガシーであると語りました。

あるジュニアは食事のケアしなければ選手生命が短くなってしまう可能性が高く、手塩にかけた選手がより長く活躍するために栄養面の充実が欠かせない(青戸氏)。「組織のダイバーシティに力点を置き、異なる価値観のものが活きる可能性。今日の参加者を見ると年齢の幅が広く、ボウリングはその地盤がありそうなので、ぜひ組織に多様な人々を入れてみてほしい(来田氏)」、「スポーツによつては、観戦者が見やすい運営、見にくい運営が分かれる。ボウリングの大会運営は見る人にとつてどのように映るかを検証するべき(平野氏)」といったことが改めて示されました。

国立スポーツ科学センター(JISS)で副センター長・スポーツ科学研究部長を務める平野裕一氏からは、近年国際競技力を伸ばしているスポーツには共通点があり、育成・強化・広報といった事業について、分析的な課題抽出と優先順位の明確化を図る必要性を述べられました。競技

提言のあとには総括と質疑応答の時間が。「ボウリングの魅力はどこまで伝わるか。伝えようとしてアスリートや指導者、サポーターたちが傷を負うようなことにならないために折り合いをつける必要が(山本氏)」、「成長期で

第46回全日本大学個人
ボウリング選手権大会

東日本大震災復興支援 「とどけよう スポーツの力を東北へ」

2015.2.24(火)▶26(木)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 全国ボウリング公認競技場協議会
主管運営 全日本学生ボウリング連合 関西学生ボウリング連盟



MKボウル上賀茂

〒603-8036 京都市北区上賀茂西河原町1-1
TEL 075-701-2131

東日本大震災復興支援「とどけよう スポーツの力を東北へ」

JBC会長杯争奪

第30回全日本年齢別
ボウリング選手権大会

2015年2月13日(金)～15日(日)

イーグルボウル

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-3-9
TEL 06-6394-3232 FAX 06-6397-0573
http://www.forjy.co.jp/eaglebowl/

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 大阪府 大阪市 公益財団法人大阪体育協会
主管 大阪市体育協会 全国ボウリング公認競技場協議会
大阪府ボウリング公認競技場協議会
大阪府ボウリング連盟

50年の集大成 オリンピックの夢、実現へ

祝賀会

シンポジウムに続いては50周年の祝賀会。文部科学省（公財）日本体育協会（日体協）（公財）日本オリンピック委員会（JOC）をはじめとするスポーツ界からのご来賓とボウリング界各団体で出席者、総勢203名の方々にお越しいただきました。武部協会会長は、JBCが進めてきたスポーツボウリングの普及振興に最も尽力くださった方々が集まったこの祝賀会で、各位に御礼を申し上げるとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックにボウリングが正式種目として追加されるよう、もう一度アクションを起こすことを宣言しました。

武部協会会長



文部科学省スポーツ・青少年局坪田課長



日体協岡崎専務理事



JOC平岡常務理事

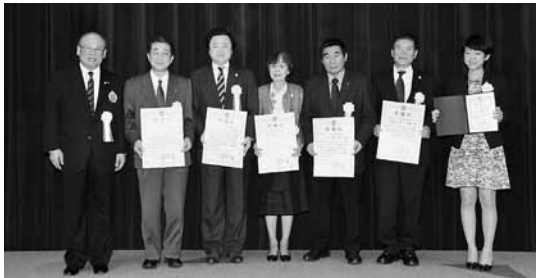


Cの平岡英介常務理事より祝辞を賜り、50年間の活動を評価いただきとともに今後のさらなる発展に期待するメッセージをいただきました。乾杯の発声は全国ボウリング公認競技場協議会・伊藤博元会長、スポーツボウリングを支える拠点である公認競技場を長年にわたりまとめてこられた伊藤会長には、協会から50周年記念特別功労章が贈られました。



【写真左】JBC赤木名誉会長（中央）と全公協伊藤会長に特別功労賞

全公協役員と加盟センターに感謝状



そして、JBCの前会長であり世界テンピンボウリング連盟名誉会長の赤木恭平協会名誉会長にも特別功労章が贈られました。

ボウリングに関わる各団体、企業において特に尽力いただいた方々と、全公協に加盟する全国380ボウリングセンターには感謝状が贈呈されました。



ボウリング功労者の方々に感謝状を贈呈

祝賀会にお越しいただいたボウリング関係者からは、（公財）笹川スポーツ財団会長でもある東京都ボウリング連盟の小野清子会長、（公社）日本ボウリング場協会・中里則彦会長、（公社）日本プロボウリング協会・松田秀樹会長、日本ボウラーズ連盟・白石雅俊理事長にご挨拶をいただき、日本のボウリング



東京都連盟小野会長



日体協中里会長



プロ協会松田会長



NBU白石理事長



日井協会副会長

を盛り上げるためにこれから相互協力する意図が表明されました。

また丹羽秀樹文部科学副大臣をはじめ多くの方々より祝電をいただきました。



アジア大会男子メンバーには全公協からも表彰



金メダルへのエピソードを語った佐々木選手



大活躍の世界ユースメンバーもステージに登場

2014年は公式国際大会で日本代表が大活躍。この記念式典当日もUAEで世界選手権男子大会が開催中で、ダブルス戦で銀メダル獲得の吉報が入りました。選手強化策の結果をゲストに紹介するた

め、第17回アジア競技大会（2014/仁川）、第13回世界ユース選手権大会の代表選手を招いて祝勝報告が行われました。

アジア競技大会のメダリストは多くが世界選手権参戦中というところで、ダブルス戦銀メダル、トリオ戦金メダルを獲得した佐々木智之選手（神奈川県）が代表としてステージに。JBCの規程による褒賞金贈呈に続き、全公協からも功労賞が贈られました。

佐々木選手はダブルス戦で同じ日本チームとの競り合いの末に準優勝。日本が金銀を独占したうれしさと自分自身の悔しさ、そしてトリオ戦で金メダルを獲得できた喜びを語りました。

続いて世界ユース選手権の報告では石本美来選手（広島）、泉宗心音選手（愛媛）、吉田愛選手（東京）、新畑雄飛選手（東京）、吉田健大選手（学連）の5名が登場。金3・銀2・銅2とかつてないメダルラッシュを遂げたメンバーを代表して、マスターズ戦優勝の石本選手がJBC褒賞金を武部会長より受け取りました。

50周年特別表彰

【特別功労章】

伊藤博元様（全国ボウリング公認競技場協議会会長）
赤木恭平様（JBC名誉会長）
江橋慎四郎様（JBC顧問）

【感謝状】

小野清子様（公益財団法人笹川スポーツ財団理事長）、中里則彦様（公益財団法人日本ボウリング場協会会長）、

松田秀樹様（公益財団法人日本プロボウリング協会会長）、藤元良一様（全国ボウリング公認競技場協議会副会長）、丹下浩延様（全国ボウリング公認競技場協議会副会長）、合原真知子様（全国ボウリング公認競技場協議会理事）、前田豊明様（全国ボウリング公認競技場協議会理事）、金子基椿様（全国ボウリング公認競技場協議会事務局長）、川島幸一郎様（日本ボウリング商工会理事長）、渡邊保様（株式会社アメリカンボウリングサービス代表取締役会長）、橋本政明様（株式会社サンプリッジ代表取締役社長）、柳井勝人様（日本放送協会会長）、土方政雄様（ア

シックスジャパン株式会社代表取締役社長）、水野正人様（ミズノ株式会社取締役顧問）、吉田嘉明様（株式会社ディーエイチシー代表取締役）、池田哲雄様（株式会社ベースボール・マガジン社代表取締役社長）、杉野公彦様（株式会社ラウンドワン代表取締役社長）、青山浩章様

（株式会社ランドポウル代表取締役）、中野明様（株式会社イースタンスポーツ代表取締役社長）、藤森隆行様（株式会社NHKグローバルメディアサービス代表取締役社長）、齊藤義晴様（公益財団法人川崎市スポーツ協会会長）、田中和徳様（川崎市ボウリング協会会長）、坂田緑

郎様（一般財団法人宇治市体育協会会長）、扇一平様（東京運動記者クラブボウリング分科会代表幹事）、津田浩様（ボウリングジャーナル社代表）、白石雅俊様（日本ボウラーズ連盟理事長）、中山律子様（ジャパンレディーズボウリングクラブ会長）、小鹿

次様（協会元専務理事）、松澤勇様（協会元職員）、宮田哲郎様（JPBプロボウラー）、野田博様、高田誠様（順不同）

報告では石本美来選手（広島）、泉宗心音選手（愛媛）、吉田愛選手（東京）、新畑雄飛選手（東京）、吉田健大選手（学連）の5名が登場。金3・銀2・銅2とかつてないメダルラッシュを遂げたメンバーを代表して、マスターズ戦優勝の石本選手がJBC褒賞金を武部会長より受け取りました。

ご列席の皆様、50年間スポーツボウリングを支えてくださった全国の皆様、本紙面を持ちまして厚く御礼を申し上げます。

1

ボウリングの愛好者は世界で約2億人。日本では年間約1250万人の方がボウリングをプレーしています。1年間に行ったことのあるスポーツの調査では、常に上位にランキングされています。(注1)ボウリング場は全国に約1000件、47都道府県すべてにあり、身近なコミュニティスペースとして開かれています。いつでも誰でも気軽に楽しめるスポーツ、それがボウリングです。

(注1) 文部科学省 体力・スポーツに関する世論調査 (2013年1月実施) にて、1位ウォーキング(散歩などを含む)、2位体操(ラジオ体操などを含む)に次いで、3位にボウリングがランキング。

2

身体にハンディキャップのある方も、ボウリングならプレーが可能。健康者とはほぼ同じルールが適用できます。日本国内でも世界中でも障がい者のための大会が活発に開かれ、健康者と互角のスコアが記録されることも。JBCは身体障がい者、知的障がい者のボウリング大会を積極的に支援するとともに、視覚障がい者ボウリングのパラリンピック種目化に向けてともに活動を進めています。

障がい者スポーツとしても普及

3

ボウリングの魅力といえば、ピンが倒れる音と爽快感。一緒にプレーする仲間と共有して、ポジティブな気分させてくれます。自身のスコアに挑戦するスポーツなので、常にフェアプレー。ライバルのストライクを讃える精神が息づいています。オリンピック・パラリンピックを通じて広げようとする「オリンピックムーブメント」も、ボウリングを通してなら実感できるはず。

「人と人をつなぐ」コミュニケーションスポーツ

4

昨年、アジア競技大会で金2・銀1、世界選手権で銀1など好成績を上げている日本は、海外の強豪国を相手に優勝を争う実力を持っています。2020年に活躍が期待されている世代も、世界ユース選手権で女子国別総合優勝の快挙！(注2) 2014年の1年間で18名もの国際大会メダリストを誕生させる指導環境が整っています。日本のメダルチャンスを広げる有力種目になります。

日本の実力は世界トップレベル

5

東京オリンピックの正式種目に選ばれた場合、プロ・アマ、経験に関係なく、どなたでもエントリー可能な日本代表予選会を実施します。全日本ナショナルチームのメンバーにも、競技歴4年で世界を制した選手がいるほど。(注2) 今から始めても時間は十分です。誰もが夢のオリンピック選手を目指す…そんな参加型のオリンピックも、ボウリングなら実現可能です。

日本代表予選会はどなたでも参加OK

(注2) 2014年、第13回世界ユース選手権大会で金3・銀2・銅2を獲得。オーエルエビツ金メダルの泉宗心選手は競技歴4年の中学3年生！

オリンピック・パラリンピックは日本の、世界のボウラーにとって永年の夢でした。その舞台でボウリングが実施されるチャンスが到来しています。国際オリンピック委員会(IOC)が2014年12月8日に採択した「アジェンダ2020」。東京オリンピック・パラリンピックにおいて、開催都市である東京が追加種目の候補を推薦できることが盛り込まれています。ボウリングはオリンピック・パラリンピックの種目にふさわしい。東京五輪ならぬこのことがふさわしい。自信を持ってもう一度、オリンピック・パラリンピック種目採用に立候補しました。日本をもちろんと元気にします。ボウリングを正式種目に!!! 応援をお願いします。

ボウリングを東京オリンピック・パラリンピックの正式種目に!!

正式種目化への活動レポート

▽2014年12月8日

IOC総会にて「アジェンダ2020」承認。再び追加種目として採用の可能性が。

▽2014年12月11日

全日本ボウリング協会創設50周年記念式典において武部勤協会会長が2020年正式種目化へのチャレンジを宣言。

▽2014年12月25日

全国のボウリングセンターおよび関係者による署名活動を開始。



JPB A名誉プロボウラー村田雄浩さん

▽2014年12月26日

(公財)日本オリンピック委員会(JOC)の竹田恒和会長を武部会長が訪問。「ボウリング競技実施推薦に関する要望書」を提出。



ボウリング大使(デニス・植野さん&マテノロウ・アントニーさん)も熱烈応援

▽2015年1月14日

(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会森喜朗会長を武部会長が訪問。「ボウリング競技実施推薦に関する要望書」を提出。



▽2015年1月13日

(公社)日本ボウリング場協会賀詞交歓会開催。ボウリング業界関係者に正式種目化への活動を報告。



▽2015年1月19日

武部会長、世界ボウリング連盟(WB)ドーンバーガー会長が組織委員会森会長を表敬訪問。



正式種目化活動のキックオフ記者会見を開催。



国民的スポーツの立候補者として、ボウリングを正式種目に！



▽2015年1月20日

WBドーンバーガー会長がJOC竹田会長を表敬訪問。



▽2015年1月22日・23日

北川薫協会副会長がタイ来訪。Dr.ナット・インドラバーナIOC委員、タイ体育協会に正式種目化への協力を要請。



▽2015年1月26日

ボウリング振興議員連盟役員・幹事会を開催。ボウリング正式種目化要請活動への積極参加を決定。



④元文部科学大臣の河村建夫会長と現文部科学副大臣の丹羽秀樹事務局長
⑤武部会長が活動内容を説明

JAPAN AIRLINES

JAL国内線 普通席

写真はイメージです。

本革シートに身をまかせる。座り心地のよさが、やすらぎを生む。

ひとつ先のスタンダード
JAL SKY NEXT

2014年5月28日より運航開始 羽田-福岡線から順次導入

なめらかな本革へと一新した、上質感あふれるシート。さらに、シートをスリム化することで、足元のスペースを拡大しました。今までにない、ゆとりとやすらぎ。ひとつ先のスタンダードで、快適な旅をお楽しみください。

導入路線・運航スケジュールなど詳しくはwww.jal.co.jp/skynext/
※座席は、機材、運航路線により仕様の異なる場合がございます。



明日の空へ、日本の翼

動画で分かるJBC JBC公式動画チャンネル



新コンテンツ 続々登場!

YouTubeで <https://www.youtube.com/user/JapanBowlingCongress>
協会公式サイトで http://www.jbc-bowling.or.jp/info_dogach.html

JBC 公益財団法人 全日本ボウリング協会 www.jbc-bowling.or.jp

全国大会の成績を会場から直接配信!

JBC携帯版 試合速報サイト



試合速報に大会スケジュール
会場案内など便利な情報が満載
携帯電話、スマートフォン、
パソコンからもアクセス可能です

↑バーコードでかんたんアクセス

アドレスは <http://www.jbc-bowling.or.jp/m/>

公益財団法人 全日本ボウリング協会 www.jbc-bowling.or.jp



ネクストJAPAN金2銀2



初日からメダルラッシュを見せた日本代表チーム

第23回アジア選手権大会

第23回アジア選手権大会が1月16日(金)から26日(月)にかけてタイ・バンコクで開催された。22の国と地域から201名の代表選手が集まり、高スコアのメダル争いに終結した。2年に一度のアジア選手権は、アジア競技大会の年にも開催される。通常は前哨戦との位置づけだったが、2014年度は開催国タイの政情を考慮して1月まで延期された。アジア大会を区切りと考える日本からは今回、4年後を視野に若手選手を積極的に抜擢したが、韓国、マレーシア、シンガポールをはじめアジア強豪国は現状最強の布陣を組んできた。そして日本のチャレンジの結果は…

シングルス山本ラストで逆転V

男子シングルスは125名

が3グループに分かれ競技。Aグループでは高校3年の宮澤拓哉(群馬)が1352をマークし、44名中5位と健闘

を見た。これに奮起したキヤプテンの佐々木智之(神奈川)もBグループで13370.2人とも暫定順位でメダルの可能性は消えたが、チームの滑り出しとしては好感を得ることができた。

そして最終Cグループには、12月に世界選手権デビューを果たした山本優介(茨城)が満を持して登場した。暫定首位は1396で、メダル獲得ラインでも1390台が必要という状況。山本は1400に乗せることを目標

に、スタートから242、244と飛ばしていった。5ゲーム目を終えた時点でグループ首位の山本だったが、トップを越えるためには242が必要だった。するとゲームスタート前に現状を把握した上で、246をマーク。トータル1401で優勝を決めた。目標どおりのスコアメイクをきっちりやり遂げた山本は下地寛寿守コーチも感心。大会初日の金メダルから、スロースターターな日本に変化の兆しが見えた。

女子シングルスは76名が2グループで競技。昨年の世界ユース選手権のチャンピオンとなった石本美来(広島)が先陣を切ってAグループに登場すると、驚異のスコ

女子も続いた！石本&向谷で金・銀

翌日の女子シングルスは76名が2グループで競技。昨年の世界ユース選手権のチャンピオンとなった石本美来(広島)が先陣を切ってAグループに登場すると、驚異のスコ

アをたたき出した。ローゲームは2ゲーム目の226で、5ゲーム目時点でアベレージ235を越えていた。とはいえず位とは1マークの僅差で予断を許さない状況。ここでも石本の強さが発揮された。強気のストライクラッシュで268とスライバルを振り切り、終わってみれば山本の金メダルスコアを大きく上回る1445で、優勝に十分可能性を残してB組の結果を待つこととなった。

そのB組には向谷美咲(千葉)がキャプテンを務める。今大会に意欲を燃やしていたが、序盤はマイナスゲームも



金銀の喜びを分かち合った向谷(左)と石本

日本の若手に洗礼チーム戦で大苦戦

日本の新星とエースがそろって表彰台に。しかも男女とも金メダルとあっては、ベストメンバーを並べたライバル各国も機嫌よくはない。韓国

は直後の男子ダブルス戦で金銀銅を独占して見せた。シングルの優勝はラッキーだと思え、と下地コーチがクギを刺したが、これからチームを作り上げていくという過程にある今回のメンバーでは太刀打ちできなかった。

女子のトリオ戦では今井双葉(長崎)・齋藤忍(青森)は銀銅を独占して見せた。シングルの優勝はラッキーだと思え、と下地コーチがクギを刺したが、これからチームを作り上げていくという過程にある今回のメンバーでは太刀打ちできなかった。

獲得できなかった。下地コーチも認めている個々のポテンシャルがチーム戦でも発揮されるには、ストライクアングルの共有やコミュニケーションといったチーム力が必要で、海外の一番強い選手たちに挑戦する中で自分たちの未熟な部分を痛感できる貴重な機会になったことは間違いなく。



女子シングルス表彰式



オールイベント入賞者(左から)向谷、ジョン、シン

オールイベント入賞者(左から)向谷、ジョン、シン。底力を垣間見せたシングルの銀メダルから一転、チーム種目はキャプテンとしての役割を第一に試合に臨んできた向谷。オールイベントの順位は後からついてきた。ダブルス、トリオとも1260台にまとまると、5人チーム戦の前半で714とスコアを伸ばした。この時点でトップに立ち、後半で逆転されてしまつたが、2つ目の銀メダルを手にした。

石本も11位に残ってマスターズ戦への切符を獲得。男子は佐々木が14位で唯一進出した。

第23回アジアボウリング選手権大会

参加22の国と地域 201名(男子125・女子76)

タイ・バンコク Blu-O Rhythm & Bowl

2015. 1. 16~26

《男子シングルス戦》6G ロングオイル

優勝	山本 優介(日本・茨城)	1,401
準優勝	SHABBIR DHANKOT(インド)	1,396
第3位	MOSTAFA AL MOUSAWI(カエート)	1,395
第7位	佐々木 智之(日本・神奈川)	1,370
第12位	宮澤 拓哉(日本・群馬)	1,352
第35位	新畑 雄飛(日本・東京)	1,272
第70位	佐古 健太郎(日本・東京)	1,191
第82位	吉田 健大(日本・学連)	1,172

《男子ダブルス戦》2×6G ミディアムオイル

優勝	大韓民国	2,834
準優勝	大韓民国	2,739
第3位	大韓民国	2,718
第9位	日本(佐々木・新畑)	2,598
第23位	日本(佐古・吉田)	2,471
第27位	日本(宮澤・山本)	2,446

《男子トリオ戦》3×6G

優勝	大韓民国	4,254
準優勝	中国	3,938
第3位	マレーシア	3,922
第17位	日本(佐々木・宮澤・山本)	3,706
第27位	日本(新畑・佐古・吉田)	3,594

《男子5人チーム戦》5×6G

優勝	大韓民国	6,663
準優勝	マレーシア	6,462
第3位	タイ	6,341
第7位	日本(佐々木・宮澤・吉田・新畑・山本)	6,090

《男子オールイベント》24G

第1位	PARK JONG WOO(大韓民国)	5,478
第2位	MOHD RAFIQ ISMAIL(マレーシア)	5,439
第3位	HONG HAE SOL(大韓民国)	5,434
第14位	佐々木 智之(日本・神奈川)	5,216
第26位	新畑 雄飛(日本・東京)	5,078
第29位	宮澤 拓哉(日本・群馬)	5,052
第39位	山本 優介(日本・茨城)	4,978
第71位	吉田 健大(日本・学連)	4,762
第75位	佐古 健太郎(日本・東京)	4,729

《男子マスターズ》

RYAN LALISANG(インドネシア)	231+268=499	優勝
準優勝	M. AL MOUSAWI(カエート)	209
第3位	HONG HAE SOL(大韓民国)	183
第14位	佐々木 智之(日本・神奈川)	3,404(70)

《女子シングルス戦》6G ロングオイル

優勝	石本 美来(日本・広島)	1,445
準優勝	向谷 美咲(日本・千葉)	1,417
第3位	SIN LI JANE(マレーシア)	1,415
第19位	霜出 佳奈(日本・千葉)	1,261
第24位	齋藤 忍(日本・青森)	1,240
第27位	野島 はるな(日本・静岡)	1,231
第36位	今井 双葉(日本・長崎)	1,183

《女子ダブルス戦》2×6G ミディアムオイル

優勝	マレーシア	2,773
準優勝	大韓民国	2,633
第3位	大韓民国	2,583
第9位	日本(石本・今井)	2,388
第10位	日本(霜出・向谷)	2,374
第16位	日本(齋藤・野島)	2,330

《女子トリオ戦》3×6G

優勝	シンガポール	3,899
準優勝	大韓民国	3,895
第3位	大韓民国	3,776
第8位	日本(今井・齋藤・野島)	3,574
第9位	日本(石本・霜出・向谷)	3,569

《女子5人チーム戦》5×6G

優勝	大韓民国	6,439
準優勝	シンガポール	6,259
第3位	マレーシア	6,175
第5位	日本(石本・今井・齋藤・野島・向谷)	6,043

《女子オールイベント》24G

第1位	JUNG DA WUN(大韓民国)	5,328
第2位	向谷 美咲(日本・千葉)	5,288
第3位	SIN LI JANE(マレーシア)	5,220
第11位	石本 美来(日本・広島)	5,094
第28位	野島 はるな(日本・静岡)	4,791
第29位	齋藤 忍(日本・青森)	4,776
第36位	霜出 佳奈(日本・千葉)	4,654
第38位	今井 双葉(日本・長崎)	4,625

《女子マスターズ》

NEW HUI FEN(シンガポール)	208+270=478	優勝
準優勝	SON YUN HEE(大韓民国)	225
第3位	SIN LI JANE(マレーシア)	162
第8位	向谷 美咲(日本・千葉)	3,524(70)
第15位	石本 美来(日本・広島)	3,310(60)

文部科学大臣杯争奪 第21回全国高等学校対抗選手権大会

男子 大宮工業 埼玉 女子 今治西 愛媛 初



競技

男子の部

津田学園A(三重)は予選1ゲーム目から500UP。3ゲーム目にも504とし1回戦のスコアを1436まで伸ばした。2位の県立横須賀工業(神奈川)はいきなり92ピンの大差をつけられた。2回戦も1396の好スコアをマークした津田学園Aはトップを独走し、2位に浮上した県立富里(千葉)との差は186まで広がった。

3回戦では1225に留まった津田学園Aだったが余裕で津田学園Aだったが余裕で津田学園Aの勝利となった。

3位決定戦は2対戦とも最終フレームまでもつれ込む好勝負。津田学園A VS 十和田工業では、1マークリードで10フレーム目を迎えた津田学園Aの加藤がダブルを決めて逆転のチャンスをつかんだ。

大宮工業Bに3マークのリードを許していた青森は最後まで追いすがると逆転に成功したが、大宮工業Bが優勝決定戦進出を決めた。

そして最終マッチ。津田学園Aは藤井が2フレーム目から、大宮工業Bは飯島がスタートから連続ストライクを決めて会場を沸かせた。

女子の部

前回準優勝の県立長崎鶴洋



校400UPの好勝負で、福島東陵が勝利した。

連覇も見えてきた福島東陵は、3位決定戦でも452をたたき出して球磨工業に快勝。前回4位の堀越も上位進出を狙ったがスコアを伸ばせず、398にまとめた今治西が優勝決定戦へ駒を進めた。

双子でペアを組む今治西は、姉の令奈が落ちて着いてマークを重ねていたが、妹・加奈が2フレーム目にスプリット。調子が狂い4連続オープンで終わってしまった。

福島東陵もここまでは大苦戦し、前半を終えた時点でほぼ同点。焦りの表情が浮かび始めた福島東陵は、7フレーム目に2人ともオープンで終わってしまった。



H/G、H/S(左から)石堂、深川、照山、工藤

また川崎市と文化・スポーツ交流を実施している島根県益田市よりゆきキヤマルが選手・役員に提供された。

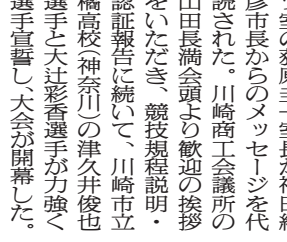
文部科学大臣杯争奪第21回全国高等学校対抗選手権大会が12月19日(金)から21日(日)にかけて神奈川県・川崎グラン・ドボウル(公認No.114・23)で開催された。96の高校チームが男女それぞれの優勝校に贈られる文部科学大臣杯を目指して熱戦を展開した。

男子は出場常連校の県立大宮工業高校(埼玉)が優勝。決定戦で圧勝を収めて初制覇を果たし、女子は県立今治西高校(愛媛)が双子ペアのチームワークで初出場・初優勝を遂げた。

開会式

競技会場に近い川崎市教育文化会館で大会の開会式が挙行された。ホールに整然と着席した参加各校が順に紹介され、前回大会優勝の金沢市立工業高校(石川)と福島東陵高校(福島)から文部科学大臣杯と優勝旗が返還された。

相澤隆也協会専務理事が主催者を代表して挨拶し、川崎市市民・こども局市民スポーツ課長が挨拶した。



川崎商工会議所 山田会頭

ツ室の萩原圭一室長が福田紀彦市長からのメッセージを代読された。川崎商工会議所の山田長満会頭より歓迎の挨拶をいただき、競技規則説明・認証報告に続いて、川崎市立橋高校(神奈川)の津久井俊也選手と大辻彩香選手が力強く選手宣誓し、大会が開幕した。



男子の部入賞校

(長崎)が177と好発進し、3マーク差で県立今治西(愛媛)と堀越(東京)が迫る展開に。長崎鶴洋は2回戦の2ゲーム目に504をマークし、このシリーズ1317.5位から急浮上してきた県立青森商業(青森)との差を149ピンまで広げた。3回戦はマイナスを喫した長崎鶴洋だったが余裕のトップ通過を決め、堀越が2位、今治西も3位と、1回戦のトップ3が上位に並んだ。

優勝候補と注目されて決勝1回戦を迎えた長崎鶴洋だったが、県立球磨工業(熊本)に接戦に持ち込まれた。377の同ピンとなって9・10フレームによる延長戦に入ると、球磨工業は下林が見事にダブル。今井はストライクを出せず、長崎鶴洋は敗退となった。堀越は県立金谷(神奈川)に1122ピン差で大勝利し、今治西も勝ち上がってスコアをまとめた。東奥学園(青森)と前回優勝・福島東陵(福島)の対決は両校400UPの好勝負で、福島東陵が勝利した。

連覇も見えてきた福島東陵は、3位決定戦でも452をたたき出して球磨工業に快勝。前回4位の堀越も上位進出を狙ったがスコアを伸ばせず、398にまとめた今治西が優勝決定戦へ駒を進めた。

双子でペアを組む今治西は、姉の令奈が落ちて着いてマークを重ねていたが、妹・加奈が2フレーム目にスプリット。調子が狂い4連続オープンで終わってしまった。

福島東陵もここまでは大苦戦し、前半を終えた時点でほぼ同点。焦りの表情が浮かび始めた福島東陵は、7フレーム目に2人ともオープンで終わってしまった。

また川崎市と文化・スポーツ交流を実施している島根県益田市よりゆきキヤマルが選手・役員に提供された。

第21回全国高等学校対抗選手権大会において、深川広大選手(青森・八戸工業第一高校)が大会第9号となるパーフェクト(300)を達成、協

優勝	埼玉県立大宮工業高等学校B(埼玉県)
準優勝	学法津田学園高等学校A(三重県)
第3位	青森県立十和田工業高等学校(青森県)
第4位	青森県立青森高等学校(青森県)
第5位	愛知工業大学名電高等学校A(愛知県)
第6位	神奈川県立横須賀工業高等学校(神奈川県)
第7位	宮城県黒川高等学校(宮城県)
第8位	千葉県立富里高等学校(千葉県)
ハイケーム	深川広大(青森県・八戸工業大学第一高等学校3年)
ハイシリース	工藤陽一郎(青森県・弘前学院聖愛高等学校3年)

優勝	愛媛県立今治西高等学校(愛媛県)
準優勝	福島東陵高等学校(福島県)
第3位	熊本県立球磨工業高等学校(熊本県)
第4位	堀越高等学校(東京都)
第5位	東奥学園高等学校(青森県)
第6位	長崎県立長崎鶴洋高等学校(長崎県)
第7位	神奈川県立金谷高等学校(神奈川県)
第8位	青森県立青森商業高等学校(青森県)
ハイケーム	石堂未来(青森県・東奥学園高等学校2年)
ハイシリース	照山莉央(東京都・堀越高等学校2年)

上位8校が決勝戦に進出する。順位に応じてトーナメントの組み合わせを決定し、1ゲームマッチで対戦。マッチゲームが同点だった場合は、各チーム代表1名が9・10フレーム(最大5社、tvkテレビ神奈川)を投球し、その点数が高いチームが勝利となる。

大会は2005年、スポーツ拠点づくり推進事業に認定されると同時に文部科学大臣杯の争奪戦に。事業認定最終年の10年目を迎えるにあたり、優勝旗を第21回の優勝校に贈呈することが決定し、今後は文部科学大臣杯を優勝杯として持ちまわることとなった。

競技種目は2人チーム戦。予選は9ゲームを行い、

(一財)地域活性化センター、神奈川県教育委員会、(公財)神奈川県体育連盟、川崎地区高等学校体育連盟、全国ボウリング公認競技場協議会、神奈川県新聞社、tvk(テレビ神奈川)、「(公社)日本ボウリング場協会、川崎グラウンドボウル、読売新聞川崎読売会、サントリービバレッジ、サベイス(株)、川崎ホテルパーク、パールホテル川崎、ホテルスカイコート川崎、川崎セントラルホテル、川崎アゼリア(株)神奈川ボウリング連盟、川崎市ボウリング協会、この大会は、地域活性化センターの「スポーツ拠点づくり推進事業」の補助を受けて実施しています。

ボウリングを 東京オリンピック・パラリンピックの正式種目に!!

2020

TOP BOWLER

vol.95 周りの祝福に大感謝!



みらい・れな(姉・右)／みらい・かな(妹・左) 16歳 愛媛県立今治西高校1年の双子姉妹。えひめ国体(2017年)に向けての選手発掘事業に参加したことでボウリングと出会い、競技歴は4年。昨春、全国高校対抗選手権の出場を目指して同じ高校に進学し、熱意とチームワークで初出場初優勝を果たした。

希望が叶って双子で出場＆初優勝。率直な感想は? 「初出場であまりよくわからないまま優勝して、実感がわきませんでした。大会から帰ってきて、たくさんの方が祝ってくれて嬉しかったです。あまり話をしたことがない人とも握手したりしました。学校では表彰してくれたり、昼の放送で話してくれたりして、本当に優勝したんだなあ、という感じです。(令奈)」 「目標は予選突破だったので、優勝したときは驚きました。桑名ボウルの方や、いつも教えてくれている(桑名クラブ会長の)松本さんに感謝しています。焼肉、とんかつ、アイスなど、いろいろな物をごちそうしてくれて嬉しかったです! 冬休みの課外で学校へ行った時、た

くさんの友達が祝福してくれて、始業式には全校の人の前で表彰してくれました。校長室で旗とカップ、賞状を持って校長先生と写真を撮ったことも嬉しかったです。(加奈)」 試合中、2人の自然なコミュニケーションが印象的でした。「友達だったら言えないことや思ったことを正直に言えることが、良いコミュニケーションを作れたのかなと思います。私がミスをしたときでも、必ずストライクやスパアでカバーしてくれるのは頼もしいと思います。また今回はだめだったけれど、(加奈は)レーンがわかった時にはすごい点を出すので、頼もしいです。これからもお互い助け合いながら、楽しく練習していこうと思います。欲を出さず初心を忘れず頑張りたいです。(令奈)」 「ミスしてもお互いに声かけられるし、(令奈は)マイペースで投げるところが頼もしいです。でも決勝戦で4連続ミスをした時は、無言の圧力を感じました…顔を見ただけで、怒っているというのがすごくわかりました。高校対抗では2連覇を目指します!(加奈)」

御手洗令奈さん・加奈さん(愛媛県)

トロフィーを手にした政時選手(左)と高橋選手



日本スポーツ賞表彰式 政時&高橋選手が出席

読売新聞社制定の第64回日本スポーツ賞表彰式が1月8日(日)、東京・ランドプリンスホテル新高輪で開催されました。

日場協よりアジア競技大会 男子チームに褒賞金

(公社)日本ボウリング協会の平成27年賀詞交歓会が1月13日(火)に東京・品川プリンスホテルで開催されました。この席上にて、第17回アジア競技大会で金2・銀1の好成績を残した日本代表チームへ褒賞金が贈られました。今回のアジア競技大会に際しては開催前から各種メディアでボウリングが採り上げられ大きな注目を集め、ボウリング業界のPRに貢献したことも評価されました。

今回のグランプリ(大賞)はフィギュアスケートの羽生結弦選手が受賞。オリンピック特別賞としてスキーマジックの錦織圭選手が表彰されました。



好評のDVD講座

下地賀寿守コーチのボウリングキャラバン

今年度最終回 東京会場に40人

スポーツ振興くじ(toto)の助成によるボウリング教室(キャラバン隊)の今年度最終回・東京会場が1月12日(土)に東京・田町ハイレーン(公競No.113・21)で開催されました。今回も40名の参加者が集まり、全日本ナショナルチームコーチの下地賀寿守プロがスキルアップに役立つレッスンを楽しく進めました。



投球姿勢のポイントを丁寧に指導

Welcome to the FLEX Generation



50th Anniversary
Since 1969
日本総代理店



ファイヤー
・粘度 45.1cps
・表面張力 23.6dyn/cm
・商品コード 94857 156-8135
・納入単位 1c/s(5ガロン)

アイス
・粘度 40.9cps
・表面張力 23.2dyn/cm
・商品コード 94856 156-8130
・納入単位 1c/s(5ガロン)

JBC 全日本ナショナルチーム 2014レプリカユニフォーム



このレプリカユニフォームの収益は、全日本ナショナルチーム・ユースナショナルチームの活動支援に充てられます。

プリントで名前が入ります!
発注時にお名前のスペルをご指示ください



¥9,612(税込み)(本体価格¥8,900)

素材:ポリエステル 100%

●印刷の為、商品の色は実物と異なる場合がございます。

詳細・申込フォーマットは

JBCホームページ <http://www.jbc-bowling.or.jp/>
ABSホームページ <http://www.absbowling.co.jp/>
でご確認ください。

企画販売元:公益財団法人 全日本ボウリング協会

製造・取扱業務代行
(株)アメリカン ボウリング サービス アパレル事業部 JBC係
〒143-0021 東京都大田区北馬込1-1-1
TEL 080-3716-6108 FAX 03-5718-7131